

19. 赤ちゃんのからだいろいろ

*体重

1ヶ月健診で出生時より1kgほど増えていれば十分です。
(1日平均30g前後です)

*熱

赤ちゃんの平熱は36.8~37.5℃です。

	平熱
新生児(生後28日未満)	36.8~37.5℃
乳児(生後~1歳未満)	36.8~37.3℃
幼児(満1歳~小学校入学前)	36.6~37.3℃

赤ちゃんの熱の高さは必ずしも病気とはかぎりません。

ぐったりしておらず、機嫌や哺乳が良好であれば問題ありません。



*便

生後1か月をすぎると、ウンチの回数は減ってきますが、1日1回以上出るのが普通です。母乳だけを飲んでいる赤ちゃんだとウンチは水っぽくなりやすく、ミルクが多いと便秘気味になりやすいです。便秘の時(1日に1回も出ない時)は以下の対処法をやってみましょう。

- ① おなかの「の」の字マッサージ(おへそを中心にやさしくなでるように)
- ② 指でおしり拭きや綿花越しに肛門を圧迫して円を描くようにマッサージしてあげましょう
- ③ 綿棒による肛門刺激(綿棒にベビーオイル、オリーブオイルなどをつけて赤ちゃんの肛門に1~2cm挿入し、回したり前後に動かして刺激する。途端にウンチを飛ばされることがあるので紙おむつなどでカバーしておくといいでしょう)

<嘔吐Q&A>

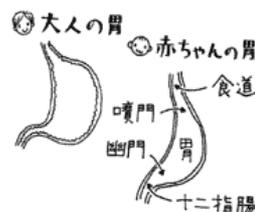
Q) 嘔吐した場合は?

A) 赤ちゃんの胃は縦長で吐き戻ししやすい形状です。吐いてもそれほど心配いりません。だいたいの原因は、飲みすぎやゲップ不足です。

Q) 赤ちゃんのゲップが出ないときはどうしたらいいの?

A) 5分くらい背中をトントンたたいたりさすったりしてみましょう。

それでも、出ないときは顔を横に向けて寝かせましょう。



☆こんな吐き方に注意!

「幽門狭窄症」…胃の出口付近、十二指腸につながる部分を「幽門」といいます。幽門狭窄症とは、この部分が厚くなり通りが悪くなる病気です。生まれつきの病気ですが、生後2~3週ころから授乳の度(授乳後20~30分後)に噴水のように勢いよく吐くようになります。吐き気があるわけではないので、吐いた後にすぐお乳をほしがりますが、胃の出口がふさがった様な状態のため、栄養分がとれず、元気がなくなり、体重も増えません。

⇒⇒⇒疑われる場合には病院への相談・受診をお願いします

19. 赤ちゃんのからだいろいろ

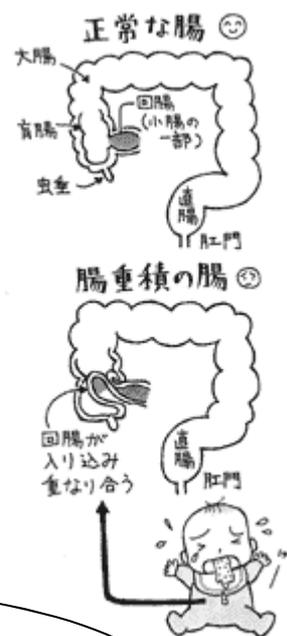
〈気をつけたい便の色〉

☆便が白い！

「胆道閉鎖症」…病気の原因は未だにわかっていませんが、お母さんの胎内で一度作られた胆管が、なんらかの炎症により閉塞するものが多いといわれています。生まれつきあるいは生後まもなく肝臓と腸をつなぐ胆管という管が詰まってしまう、胆汁が腸に流れなくなる病気です。生まれてから数カ月以内の赤ちゃんに皮膚や眼球結膜（白目）の黄染（黄疸）と白っぽい色のウンチ（灰色がかった白色、クリーム色やレモン色のこともあります）が見られる場合には小児科医に診てもらいましょう。

☆血便！

「腸重積」…望遠鏡の筒の様に腸が腸の中に入り込み腸閉塞をおこす病気です。主に3～4ヶ月から1～2歳にみられます。突然、ふきげんになって、ぐずったり、激しく泣いたり。顔色が悪くなったり、吐いたりすることもあります。いったん、おさまった後、5～15分してまたふきげんに泣き、これをくり返します。おむつを開けてみると、いちごジャムのような真っ赤な血便が…。こんなときは病院へ来ましょう。



ウンチの異常で病院に来るときは、ウンチが乾燥しないようにオムツに包み、オムツごと病院に持って行くようにしてください。